乾式変圧器

取扱説明書

注意！

運搬、工事に携わる方はこの説明書をよくお読みの上、お取り扱いください。
取扱説明書に記載の機能、使用方法、安全上の注意などをご確認の上、
お取り扱いください。
保守管理に携わる方はこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

春日電機株式会社

■ホームページ　http//www.kasuga.jp

安全にご使用していただくために

感電、故障、事故を防ぐ為に下記事項をお守りいただくようお願い致します

・変圧器は必ず**定格容量以内**でご使用ください。
通電時には、**感電の危険**がありますので、近づいたり、触ったりしないでください。
・通電中、停止直後の変圧器は**高温**となっていますので、不用意に触れて**火傷**しないようにしてください。
・変圧器の吊り上げは必ず**すべての吊りボルト**を使用してください。
・変圧器を１５°以上傾けないでください（**転倒**する恐れがあります）
・設置、点検などで変圧器に触れる時は金物、絶縁物などの角部や突起で**ケガ**をしないように注意してください。
・変圧器に損傷、変形がある場合は使用しないでください。
・本変圧器は**屋内使用品**ですので直射日光、雨水などが当らないようにしてください。
・本変圧器は自冷式ですので**換気**を十分にとってください。
（**過熱の原因**となります）
・変圧器は短絡、過負荷保護機能を有していませんので、十分に**保護協調**をとってご使用願います。
・変圧器を改造して使用しないでください。
・万一、変圧器に異常が発生した場合は、直ちに通電を中止して、原因を調査し、対策を実施してください。

１．使用条件

・標　高　；１０００m以下
・周囲温度；－５℃（－１０℃）～４０℃　　・・・（　）内は規格トランスに摘要
・相対湿度；４５％～８５％ＲＨ
・雰囲気　；粉塵、煙、腐食性ガス、蒸気、塩分が含まれないこと
・周波数　；指定の定格周波数にてご使用ください
・入力電圧波形；ほぼ正弦波形の電源でご使用ください

２．設置上の注意

・変圧器の移動はクレーンを使用し、この時クレーンの急激な操作をしないように気をつけてください。
・ワイヤーで吊る場合、変形や損傷がないよう細心の注意を払う必要があります。
吊角度はケース上面に対し、ワイヤー角度が６０°以上になるようにワイヤー長さを選定ください。
設置や架設時に、変圧器に足をかけたりしないでください。
・変圧器の上部、周辺部で作業を行なうときは、粉塵、鉄粉、切り屑などの侵入を防止してください。
・変圧器の固定は所定の箇所のすべてを使用願います。
・運転に入るまでに期間がある場合は防塵、結露対策を実施してください。
・入出力端子のねじは所定の締付トルクで締付けてください。

ねじサイズ	推奨締付トルク
M3	0．6～0．9N･m
M3．5	1．0～1．3N･m
M4	1．4～1．8N･m
M5	2．2～2．8N･m
M6	4．0～5．0N･m
M8	8．0～10N･m
M10	15～20　N･m
M12	25～35　N･m

３．保護

トランスの特性上、電源投入時には投入のタイミング（残留磁気、投入電圧の位相）により、定格電流の数倍から２０倍を超える突入電流が流れることがあります。

このため、１次側に設置する保護機器の選定を誤ると誤動作により電源を投入できないことがあります。

トランスの２次側短絡保護として普通１次側にヒューズや配線用遮断器が設置されますが、ヒューズをご使用になる場合はタイムラグ溶断型を、配線用遮断器をご使用になる場合は、時延遮断型をご選定ください。また、定格値はトランスの効率・突入電流を考慮した下記の計算式をご参照の上、お選びください。

定格電流（Ａ）＝１．２～２×定格容量（ＶＡ）÷１次電圧（Ｖ）

４．保守、点検

・保守、点検を行なう時は電源を切り、主回路を接地してください。
　感電のおそれがあります。
・電源を切った直後はコイル、鉄心、金具に触れないでください。
　感電、やけどのおそれがあります。

５．廃棄方法

・本製品を廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。
・分解作業は技能を持った人が行なってください、けがのおそれがあります。